

2018年「環黄海経済・技術交流大賞」九州側受賞者概要

①企業等法人・個人部門

環境テクノス株式会社

- ✓ 所在地：北九州市戸畑区中原新町2-4
- ✓ 資本金：4,000万円
- ✓ 従業員：68名
- ✓ 設立：1973年
- ✓ 代表者：代表取締役社長 鶴田 直
- ✓ 業種：環境技術総合コンサルタント
- ✓ 事業：環境コンサルタント/環境アセスメント/環境・社会調査環境計量証明事業等

②地方公共団体・経済団体部門

公益社団法人福岡貿易会

- ✓ 所在地：福岡県福岡市
- ✓ 設立：1958年（法人化1974年）
- ✓ 代表者：会長 土屋 直知
（（株）正興電機製作所 代表取締役会長）
- ✓ 業種：貿易情報及び貿易資料の提供、貿易に関する講演会・懇談会・説明会等の開催、海外視察団の派遣、外国航路及び貿易関係機関誘致等による地域の貿易環境整備推進、貿易・経済振興

- ✓ 世界的な環境問題への関心の高まり、環境規制の強化にいち早く対応し、これらの高い技術力を生かした海外ビジネスを展開。環黄海地域では、その高い技術力と信頼性から中国に展開する日系企業のみならず、中国の公的機関などからも分析依頼を受けている。
- ✓ また、環黄海地域における環境関連ビジネスでの経済交流に積極的に取り組む九州地域の環境関連ビジネス団体（K-RIP（九州地域環境・リサイクル交流プラザ（当時。現「九州環境エネルギー産業推進機構」）、KIGS（北九州環境ビジネス推進会）等）の活動に積極的に参加している。
- ✓ このような活動等を通じた現地ニーズの把握や人的ネットワークの形成をビジネス展開に効果的に活用している。また両団体のトップを歴任することで、九州地域の環境関連ビジネスの牽引的存在として活動。
- ✓ 中国・韓国との経済交流活動を主導し、環黄海地域の環境ビジネス、社会課題への貢献を果たしている。

- ✓ 1958年9月の設立以来、行政・関係支援機関との密接な連携のもと、国際経済交流の推進や各種商談ミッションの派遣・受入、貿易実務講習会、セミナー開催等の各種事業を実施して、地場企業の海外展開や人材育成の支援に努めている。
- ✓ 特に環黄海地域については、
 - ①日韓の国交回復の兆しが見え始めた1960年「福岡韓国貿易促進協議会」を福岡市と結成し、1962年には全国に先駆け釜山に視察団を派遣したほか、ソウル・太田・大邱など主要都市を訪問し、ビジネス交流を実施。
 - ②日中平和友好条約が調印された1978年には「福岡市中小企業友好訪中団」を市と立ち上げ、福岡の経済団としては初めて広州市を訪問。
- ✓ 設立以来、中国・韓国をはじめとする海外との貿易促進、経済交流に取組み、数多くのビジネスに結びつけてきたことで福岡経済の発展に寄与している。

名前

企業・団体概要

選定理由

環黄海経済・技術交流大賞 概要



- ・2014年11月、第13回環黄海経済・技術交流会議(環黄海会議) 長崎会合 において、九州経済国際化推進機構から、「環黄海経済・技術交流大賞」の創設・素案を提案。
- ・受賞者となる環黄海地域内の企業、経済団体、地方公共団体等のモチベーション、知名度、信頼性の向上等を図るとともに、先進事例の創出による機運醸成等、社会的効果をもたらし、域内での企業活動の活発化、新事業の創出、新規取引の生成等、一層の環黄海地域での経済・技術交流の発展へ繋げる。
- ・第1回表彰式を第14回(釜山)会合で行い、今回の第17回(群山)会合が4回目の表彰。

表彰対象イメージ

①企業・個人
→ものづくり・サービス

②地方公共団体・団体・大学
→公共サービス、人材育成

分野

貿易

投資

人材育成

内容

プラットフォーム形成

パートナー探索支援

交流機会創出

サプライチェーン強化

マーケット創出

新サービス、技術普及

評価

商流拡大

新市場創出

相互理解の増進

環黄海経済・技術交流大賞

効果

受賞者のモチベーション、
知名度、信頼性向上

先進事例創出による
社会的機運の醸成